

# “鮮度一番！”

No.157

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1 / ひとことコラム
- 1 ~ 3 / 運営委員会で話し合われたこと
- 4 / みんな貧乏…でも…朝ドラの戦後風景に想う
- 5 / さんじょう地名メモ…(8)
- 6 / 参加報告 投稿募集 編集後記

・・・ひとことコラム・・・

F. M

家族が永眠した。名前は俊平。享年13歳。♂のダルメシアン。冬になってオシッコをガマンできなくなり、段差を降りるのを躊躇し、時々股関節がガクンとなり、水を飲まなくなり、ドライフードを食べなくなり、手首にむくみが出て、失禁し、ハウスから出られなくなり、好物の魚ごはんもついに食べなくなり、排泄しなくなり、水を2杯飲んで元気になるのかと思って仕事に行き、帰ったら冷たくなっていた。

介護という仕事に関わっているためか、「平穏死」させてあげたいと思っていた。苦しませず、家族の中で看取ってあげようと思っていた。

夜中に「オシッコ出た」「毛布掛けて」と吠えられ、夜中に洗濯機をまわした。ヒーターのタイマーをセットし、掛け物を掛け直し、2週間程そんな生活が続いたが、やはりもっと〇〇〇してやればよかった・・・という思いは残る。

葬儀の仮予約も入れてあった為、息子に休日変更してもらい無事済ませた。心にぽっかり大きな穴が空いた。息子が家からいなくなった時よりもむしろ・・・。リビングの戸を開ける時は今でもドキドキする。今まではいつも「ワン！」と吠えられていたから。疲れて仕事から帰っても散歩をせかす声も、待ってたよ！と甘える声もない。毎日何度もお腹をなでていた・・・。今はもうそこにはいない。どんな時も傍らにいつもいた俊平、ありがとね。行ってらっしゃい。これからも頑張るから応援していてね。 ママより

## 運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成24年4月4日(水)(AM9:30~11:30)

場 所 男女共同参画センター

う～ん、体調今一の運営委員がチラホラ、歳のせいでしょうか？  
 次回の運営委員会は、午後1:30～開催です。お時間の都合出来ます方、どうぞ  
 5月9日(水)男女共同参画センターへおいでください。

**1.****樋口恵子講演会「高齢社会の生き方を考える」(3/18)に参加して**

単身女性の3分の1は、貧困であると言われるくらい女性にとって、貧困は大きな問題です。樋口恵子さん曰く「BB」(貧乏ばあさん)から「HB」(働くハッピーばあさん)へ寿命が伸びた分長く自分の好きな仕事を続けることが重要であると話され、男女共同参画は、今や命がけの問題であると力説されました。

2050年には、高齢者比率(65歳以上)が40%となる超高齢化・人口減少社会における女性の位置について、考える講演会となりました。

**2.****春のうきうきフェスタについて**

「ただ郷うきうきフェスタ」のパンフレットが届きましたので、会員の皆様へは同封致します。当会の「大人の女性のためのただツアー」(6月6日開催)のみならず、他の催しも魅力たっぷりの内容ですのでどうぞお誘い合わせのうえご参加ください。

パンフレット等お問合せは、ただ郷うきうきフェスタ実行委員会(Tel47-2230)まで。

**3.****第17回総会について**

6月2日(土)開催の総会は、例年どおり「まるい」にて、5時から総会、6時から記念講演会(講師 三条市考古学研究会)、7時から懇親会の予定です。今年度は、役員改選の年です。実行委員として活動して下さる方を、大募集していますのでよろしくお願い致します。

**4.****映画「エクレール・お菓子放浪記」上映について**

映画「エクレール・お菓子放浪記」は、様々な出会いと別れを繰り返し、戦中・戦後を必死に生き抜いていくアキオ少年の姿を通して、お菓子への憧れを平和への希望にまで昇華させた作品です。試写会では、泣いてしまいました。

当会もチケット販売の協力を致しますので、野崎までお電話(32-3667)下さい。

- ◆ 5月13日(日) 三条市総合福祉センター 1回目 10:00~ 2回目 14:00~
- ◆ 5月19日(土) 三条市中央公民館 1回目 10:00~ 2回目 14:00~
- ◆ 5月19日(土) サンファーム三条 19:00~

一般・シニア 1,000円(当日1,500円)

小中高生 800円

## 5. 審議会等について

第三条市男女共同参画審議会の報告

西方 久子

3月19日、第4回三条市男女共同参画審議会が開催され、「平成23年度三条市男女共同参画推進プラン実施状況」の評価と「推進プランの見直し案」について話し合った。

平成23年度男女共同参画推進プラン施策60項目の評価については、男女平等の視点「目標値・工夫」など重点的にA～D4段階評価を行った。

今年度の審議会として、「審議会などの女性比率30%目標を提言する」を積極的に推進し、女性比率0%審議会などの改善を求めるために、女性比率の向上に向けた配慮を強く要望する意見書を市長に提出した。

## 6. 燕三条エフエム放送（ラジオは～と 76.8MHz）“ワイワイ女性ひろば”

●本放送 毎週木曜日 11:00～11:30 ●再放送 毎週水曜日 19:30～20:00

4月テーマ 「女、一生の働き方」

- |               |                |
|---------------|----------------|
| ①大おばあさん時代     | ②BBからHBへ       |
| ③これからは「ながら介護」 | ④高齢女性の健康は社会の資産 |

メンバー：安室久恵、野崎ミチコ、米田美智子、田辺とも子

3月18日(日)新潟市で開催された、NPO高齢社会を良くする女性の会理事長樋口恵子さんの講演会に参加したメンバーを中心におしゃべりした4月4週分をお届けします。

4月のテーマ「女、一生の働き方」は樋口さんの近著のタイトルです。講演終了後、本にサインをしていただいた時「講演や本の内容等々、何でもどんどん使っていていいですよ」と言ってくださり、そっくり4月のテーマにいただきました。とても4週では喋りきれないしゃべり足りない結果となりましたので、又の機会に取り上げたいと思います。

2週目のテーマ“BB”は「びんぼうばあさん」「HB」は「ハッピー（もしくは働く）ばあさん」の意です。どうぞお聴きくださりご意見ご感想をお寄せください。

5月のテーマは「まちあるき」を予定しています。（田辺）



みんなビンボー・・・ でも・・・

## 朝ドラの戦後風景に想う

米田美智子

NHKの朝ドラは「おひさま」「カーネーション」に引き続き「梅ちゃん先生」も、ドラマの始まりは、なぜか3つとも太平洋戦争の末期から戦後という時間設定になっている。私にとって、毎朝テレビで見る空襲後の焼け跡、闇市（庶民がごぎ等を敷いて何でもいいから並べて、商売した道端の市）その辺をうろうろしている浮浪児の姿はなつかしい風景なのだ。

戦後の9月には、母と3人の子どもという私たち一家は、父の意思で4年間疎開ぐらしをしていた新飯田から東京に戻っていた。東京もんの母からすれば、もう空襲の不安がなくなった以上、父との約束は守ったと判断したのだろう。東京でサラリーマンをしていた父は、私が6歳の時、赤紙（兵隊になれという国の命令書）がきて、自分の実家のある新飯田に妻子を置いて、満州に一兵卒として行ってしまった。その当時の私の頭に焼き付いている母の姿は、農家の手伝い、内職など、いつも稼いでいる姿だ。全くその日ぐらしの日々だった。

でも、私の子ども時代の思い出は、新飯田も戦後の東京も明るい。みんなパンツ1枚で、田んぼ用の用水路でばしゃばしゃ泳ぎまわった風景、男の子たちとも一緒になって大縄とびをした興奮と、次々よみがえる。テレビもゲームもなかった、みんな貧しかったが、子どもたちは勝手に群れて勝手に遊んで、十分だった。大人の知らない世界で、けんかもし、適当な仲直りもして、少々のがけもOK、時に大人からのゲンコツももらった。そして、みんな、いつの間にか大人になっていた。

そんな世代の私たちには、豊かさにあふれているのに、今の時代の生きにくさは何なんだろうと不思議でならない。不登校、イジメ、ひきこもり、児童虐待、うつ、などという言葉は耳にしなかった。これらの事象に対して、行政も市民サイドからも個別の対応は、それぞれ真剣になされているが、課題にすべきは私たちの社会の体質改善なのではないだろうか。社会の本質的課題は周辺のいろいろな事象に顕れるというが、見える事象だけでなく、見えないけれど、本質的な迫り方も必要なのではないか。そんなことを、共に考え意見交換できる場があったらと思う。



## さんじょう地名メモ (8)

「三竹（さんちく）」

三条地名研究会 杉野真司

三条の地名を詳しく解説した人に渡辺行一さんがいます。三條市立図書館長を務められ、「三條風ばやし」（昭和 31 年）の作詞、作曲者で、『三條の歴史』（昭和 41 年）の著者でもある郷土の碩学です。渡辺さんには、三條の歴史を新聞紙上で語った「三條ものかたり」という文章があります。連載の中で、「三條大字地名の由来」と副題を付けて、地名についても紙幅を費やしています。他に、三條の大字地名を網羅して解説したものは見当たらず、現在流布している地名解説の多くが渡辺さんの考えを基にしています。『角川日本地名大辞典 15 新潟県』に収録されている解説も、「三條ものかたり」に依拠しています。

例えば、三竹（さんちく）は、「笹竹の繁茂する原野を開墾して成立したことからといわれる（三條ものがたり※）」と記載されています。これは原文を端折り過ぎていますが、原文の要旨は、「三竹を古くは竹原新田（たけはらしんでん）といった。笹竹の生えていた原を三カ所開墾したことで三竹原新田となった。その後、頭の二字をとって三竹となった。」というものです。三竹は文字の省略と、訓から音への変化で生じた地名ではないかということが、渡辺さんの文章から窺えます。三竹原新田の頭二文字を取って、それ以外を省略して三竹になることはあり得るかと思えます。長い文字数の地名が省略されて、二文字の地名になることはよくあります。地名は発声されていた言葉に漢字を当てることで、訓から音へ（或いは音から音へ、音から訓へ）と変化することが知られています。おそらく三竹はこうした変化を経て現在の姿になったのでしょう。しかしながら、三竹の語源を「笹竹の繁茂する原野を開墾」云々と解釈するのは漢字に捉われ過ぎたきらいがあり、語源とは合わないのではないかと考えられます。漢字の意味と地名の語源とは必ずしも一致しません。植物名の付く地名も多いのですが、その由来も案外植物とは結びつきません。竹原から三竹原への変化も疑問が残ります。先人の意見に批判を加え、新しい知見を述べるのは、後人の務めだとは思いますが、とって、先人の功績には及ばず、三竹の語源が何かを推論する手立てを持ち合わせていません。三竹は難解な地名です。

※原題は「三條ものかたり」と濁点が付きません。



## 【参加報告】・・・「高齢社会の生き方を考える」

3月18日、樋口恵子さんの講演会に行ってきました

小柳早苗

超高齢化社会、少子人口減少社会における女性の位置に関する的確かつ正確なデータを詳しく示されて、また、途中ではご自身の女性としての本音などもチラリつぶやいたり、「樋口のラッキーセブンの法則」に基づいて熱心に力強く話してくださいました。

厳しさを増す現代社会で、自立して生きる方策を模索しながら元気に生きていかなければならないことを悟りました。

無縁社会から、有援(縁)社会へのつながりの大切さもあります。地域や行政への協調協力を継続していかなければなりません。

毎日雑用に追われながらも時として孤独と不安に落ち込んだりしてましたが、今から大きな夢と、ささやかな目標を胸に命果てるまで努力していきたいと思いました。樋口さんの話が聞けて感謝—元気をいただきました。

余談です。昔、三条のお取り越しに祖母に連れられて東別院の本堂に行った時、そこには大勢の老若男女がお坊さまのお経や講和に手を合わせて聞き入っている姿を思い出しました。あの時代は僧侶が人生を導く役を行っていたのでしょうか？人々はそこで人生を学び癒されたのだらうと回想しています。

## ◆会報「鮮度一番！」への投稿を募集しています

あなたの男女共同参画社会への気づきについての文章を募集しています。

一人ひとりが体験した生活での気づきをみんなで共有できたらと願うものです。本名やイニシャルでの掲載、文字数等柔軟に対応致します。どうぞあなたの声をお寄せ下さい。

《送り先》

- 三条女性会議 E-mail: info@joseikaigi.net
- FAX 0256-32-3679
- 〒955-0044 三条市田島 2-12-12

編集後記：

台風並みの大風に、夜中のハウスの補修作業。火事場のばか力が我が家のハウスを救ってくれました。そのハウスにすじまきを終えた苗箱が並べられ、ゴールデンウィークの田植えに向けて準備が整いました。無事に田植えが終わりますようにと祈るばかりです。

今号もどうぞすみからすみまでお読みください。(原)

編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 Tel 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>